

No.90

12月定例会号

平成30年1月25日

高浜市議会だより

びいぶる

- P.2～P4 …………… 議案審議(議案・陳情等)
- P.5 …………… 議案等に対する各議員の態度(採決)
- P.5～P10…………… 市政のここが聞きたい(一般質問)
- P.11 …………… 議会報告会アンケート記載結果、議会中継画面アクセス件数
- P.12 …………… 議会中継のご視聴を、3月定例会を傍聴してみませんか
杉浦敏和議員訃報



市庁舎から見た朝焼け

「冬はつとめて」お馴染みの清少納言、枕草子の一節です。「冬はつとめて(早朝の意)が良い」と言っていますが、夜の闇が藍色の濃く深い紫を帯びた色に地平から変わっていき、それがまだ昇らぬ太陽で朝焼けに移り、そして日の出を迎える様は、とても風情があるものです。朝の冷気の中、身も心も引き締まる気分は、何ともいえず心地良く、今日も頑張るぞという気にさせてくれます。そんな気持ちを毎日続けるよう「努めて」いきたいですね。

編集 広報・広聴委員会

発行 高浜市議会 高浜市青木町四丁目1番地2

電話 0566-52-1111 FAX 0566-52-1122

Eメール gikai@city.takahama.lg.jp ホームページアドレス <http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/gikai/index.html>

議 案 審 議

議案等の件名及び採決の結果は、5ページの「議案等に対する各議員の態度」をご参照ください。

12月定例会

11月28日から12月21日までの、24日間の会期で開催されました。議案の概要は、次のとおりです。

諮 問

【諮問第2号】

人権擁護委員神谷章一氏が、平成30年3月31日で任期満了となるので、再度推薦するもの。（新たな任期3年）

議案・補正予算

【議案第62号】

所得税法の一部改正に伴い、条文の整備を行うもの。

【議案第63号】

建築基準法の一部改正に伴い、同法を引用する本条例の条文の整備を行うもの。

【議案第64号】

市長の事務部局並びに教育委員会の事務局及び学校その他の教育機関の定数を改定するもの。

【議案第65号】

育児休業法の一部改正に伴い、再度の育児休業ができる場合や、非常勤職員が育児休業を延長することができる場合等について定めるもの。

【議案第66号】

行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、個人識別符号を個人情報に位置づけ、要配慮個人情報が含まれる個人情報の取扱いを定めるもの。

【議案第67号】

港小学校のコンピュータ教室を普通教室に改修することに伴い、所要の規定の整備を行うもの。

【議案第68号】

市立幼稚園の授業料の減免について、保

護者の属する世帯の所得等による減免額の区分等を規則に委任するほか、所要の規定の整備を行うもの。

【議案第69号】

歳入歳出それぞれ3,123万5千円を追加し、補正後の予算総額を145億3,703万5千円とするもの。

○債務負担行為 固定資産税計算システム修正等業務委託料486万円、平成29年度から30年度まで。

○歳入の主な増額 国庫支出金の地方創生推進交付金990万円。

○歳出の主な増額 LPWAネットワーク環境整備費負担金等1,980万円、障害児給付費1,414万7千円、介護保険システム修正業務委託料693万3千円、地域医療振興事業（用地測量・土地購入）1億363万1千円など。

○歳出の主な減額 財政調整基金積立金9,301万9千円、公共下水道事業特別会計繰出金416万9千円など。

【議案第70号】

歳入歳出それぞれ703万6千円を追加し、補正後の予算総額を41億3,263万円とするもの。

○主な歳入の増額 国庫支出金療養給付費負担金429万1千円、一般会計（職員給与費等）繰入金393万1千円など。

○主な歳入の減額 県補助金（財政調整交付金）118万6千円。

○主な歳出の増額 一般被保険者療養給付費・高額療養費1億1,579万2千円。

○主な歳出の減額 国民健康保険支払準備基金積立金1億1,302万4千円。

【議案第71号】

歳入歳出それぞれ416万9千円を減額し、補正後の予算総額を15億5,050万6千円とするもの。

○主な要因 人事交流に伴う人件費の減。

【議案第72号】

■保険事業勘定における歳入歳出にそれぞれ269万3千円を追加し、補正後の予算総額を27億6,689万円とするもの。

○主な要因 人事院勧告に伴う増。

■介護サービス事業勘定における歳入歳出にそれぞれ499万3千円を追加し、補正後の

予算総額を5,438万4千円とするもの。

○主な要因 人事院勧告に基づく増。

○主な歳出の増額 人件費及び介護予防支援事業に係る委託料など。

【議案第73号】

歳入歳出それぞれ73万7千円を追加し、補正後の予算総額を4億7,736万1千円とするもの。

○主な歳出の増 過誤納保険料還付金等。

【議案第74号】

収益的収入の総額を45万6千円減額して8億5,795万6千円とし、支出の総額から671万7千円を減額して7億7,467万8千円とする。

○収入の主な減額 人事交流に伴う他会計補助金（児童手当）。

○支出の主な減額 人事交流に伴う人件費。

また、資本的収入の総額から166万9千円を減額して1億1,389万5千円とする。

○収入の主な減額 内定通知に伴う補助金。

併せて、議会の議決を経なければ流用できない経費から職員給与費として763万円を減額し、総額を5,439万6千円とするもの。

○主な要因 人事交流に伴う人件費の減。

【議案第75号】

高浜市議会の議員に係る期末手当の年間の支給割合を3.25月分から3.3月分に改定するもの。

【議案第76号】

高浜市特別職の職員で常勤のものに係る期末手当の年間の支給割合を3.25月分から3.3月分に改定するもの。

【議案第77号】

平成29年8月に実施された人事院勧告に基づき、国家公務員の給与改定に準じて職員の勤勉手当の支給割合及び給料表の改定等を行うもの。

【議案第78号】

歳入歳出それぞれ160万円を追加し、補正後の予算総額を145億3,863万5千円とするもの。

○歳入の主な増額 民生費、教育費及び総務費への指定寄付金160万円。

○歳出の主な増額 基金費への指定寄付金の積み立てと、教育振興費による楽器購入30万円などのほか、人事院勧告に基づく給与改定。

○歳出の主な減額 財政調整基金積立金。

【議案第79号】

歳入歳出それぞれ47万8千円を追加し、補正後の予算総額を41億3,310万8千円とするもの。

○主な要因 人事院勧告に基づく増。

【議案第80号】

歳入歳出それぞれ29万4千円を追加し、補正後の予算総額を15億5,080万円とするもの。

○主な要因 人事院勧告に基づく増。

【議案第81号】

■保険事業勘定における歳入歳出それぞれ19万8千円を追加し、補正後の予算総額を27億6,708万8千円とするもの。

○主な要因 人事院勧告に基づく増。

■介護サービス事業勘定における歳入歳出それぞれに29万5千円を追加し、補正後の総額を5,467万9千円とするもの。

○主な要因 人事院勧告に基づく増。

【議案第82号】

歳入歳出それぞれ10万5千円を追加し、補正後の予算総額を4億7,746万6千円とするもの。

○主な要因 人事院勧告に基づく増。

【議案第83号】

収益的支出の総額に33万5千円を追加し、7億7,501万3千円とするもの。

併せて、議会の議決を経なければ流用できない経費に職員給与費として33万5千円を追加し、総額を5,473万1千円とするもの。

○主な要因 人事院勧告に基づく増。

【議案第84号】

議案第75号による高浜市議会の議員に係る期末手当の年間の支給割合を引き続き2.95月分に据え置くもの。

【議案第85号】

議案第76号による高浜市特別職の職員で常勤のものに係る期末手当の年間の支給割合を引き続き2.95月分に据え置くもの。



12月定例会には陳情4件が提出され、各委員会に付託・審査の後、本会議において採決されました。

【陳情第11号】

■反対意見

- 国保の改善ということですが、一般会計からの繰り入れは、無条件・無秩序に行うものではなく、一定のルールを定めて実施するものです。保険税を引き下げのために、法定外の繰り入れを行う考えはよくありません。
- 『社会保障・税一体改革の促進で、「わが事・丸ごと地域共生社会」に向け、自立や共助を前提に、「地域丸投げ」の地域づくりを強調されています。』といった表現がありますが、地域丸投げということではありません。

【陳情第12号】

■反対意見

- 学習支援の取り組みについては、生活困窮世帯の中学生、高校生を対象にした「ステップ」、1人親家庭の小学4～6年生を対象にした「あすたか」を実施している。子ども食堂の支援についても実施しています。
- 「介護保険への国庫負担を増やして」とあるが、増やすということは他のサービスを見直さなければならず、全体のバランスの中で見直す議論が必要です。

■賛成意見

- 「安心できる介護保障について」ということで、介護保険や利用料、基盤整備など、全て理解できます。また、生活保護についても理解できます。

【陳情第13号】

■反対意見

- 公共施設総合管理計画では跡地活用方針が示されており、施設の総量圧縮により生じた資産については売却、貸付などの方法について検討するとしている。市民の参画で進めることはできない跡地だと考えています。

- 中央公民館の廃止は、将来の財政負担を見通して公共施設の総量を圧縮し、機能集約を行い、その上で小学校区を単位としたまちづくりを行う目的の一環です。跡地利用に多額の費用をかけることは、この目的に逆行します。
- 市民参画を否定すべきものではないが、高浜市として将来に向かってどうするかという議論ならいいけれども、自分たちの使い勝手のいい、個人の趣味とかで使えたらいいという議論に推移している。

■賛成意見

- 高浜市自治基本条例の第4条には、「議会及び行政は、市民参画の機会を保障し、市民の意思を反映した市政運営を行ないます。」、また、同6条には、「子どもは、社会の一員として、それぞれの年齢にふさわしいまちづくりに参加する権利があります。」と書かれている。

【陳情第14号】

■反対意見

- これまで高浜市が築いてきた豊田会との協力体制を根底から覆すことになる。高浜市から豊田会の撤退を意味しており、ベッドを持った病院が市内から消えることになる。
- 高浜市の医療をどうするかという議論なしに、各論の部分で反対・賛成というのは、いかがなものかと思えます。

■賛成意見

- 最初の協定書には、現在の病院を移譲するときに10年以上運営していただけるとある。また、北棟を直した場合に補助するという文言もあるが、いつのまにか新築移転の話に変わっている。





小野田 由紀子 議員

平成30年度 予算編成に対する 要望書の考え方について

問 若年性認知症対策の現状と今後の取り組みについて。

答 地域包括支援センターを相談窓口と位置付け、認知症地域支援推進員が、

県の若年性認知症支援コーディネーターや医療機関、各種関係機関とネットワーク化し、相談支援に繋げている。また、認知症サポートブックの配布や、12月9日に若年性認知症支援コーディネーターによる講演会を開催する。

問 空家を活用した生活困窮者の居住支援は。

答 本年度は市内の空家の実態調査に着手し、10月末の速報値で295戸の空家が確認された。この調査結果を基に、対策指針となる空家対策計画を策定する。今後は、需要や活用の具体策について検討し、高齢者に留まることなく障がい者、子育て世帯など、住宅確保要配慮者への支援も含めて検討していきたい。

問 高齢者の、ごみ出し支援について。

答 本年4月、地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置し、小学校区での地域の支え合いの活動を発掘したり、新たな支え合いの活動を推進したりしている。吉浜まちづくり協議会では、新たにお互いじゃんネットをスタートすることになり、ごみ出し支援も対象としていくなど、地域共生社会という視点を持って考えていきたい。

問 マルチメディアデジジー教科書の導入は。

答 最新の研究動向を収集・分析し、市内各小中学校児童生徒の音声教材の需要も把握し、導入の可能性について今後も検討していく。

問 小中学校のがん教育の取り組みは。

答 今年度から、がん教育を学校保健計画に位置付け、全学校で確実に推進するようにしている。今後、がん教育充実を目指し、外部講師の参加・協力等、関係機関との連携を進めていく。

問 教員の働き方改革について。

答 平成30年4月から、朝の部活動を原則しない方向で検討している。西三河各市でも前向きに検討が進められており、本年度中に国から、部活動についてガイドラインが示される予定。



小嶋 克文 議員

ICT教育について

問 タブレットや電子黒板などのICTを取り入れた教育は、授業を映像化したりして、子どもたちの理解する力を高める等、大きな成果を挙げている。指導する側の教員の研修体制やサポート体制は。

答 指導力向上のため、教員が自由に参観できる、ICTを活用した「公開授業」に取り組んでいる。また、業者に教員の支援を依頼したり、ICTの有効な活用方法について相談できるサポートもしています。

問 ICT環境の現状と今後の整備計画は。

答 両中学校と翼小学校に、電子黒板を導入しています。児童生徒用のコンピュータは、小学校では、各校に40台のタブレット型パソコン、各中学校では40台のデスクトップパソコンのほかに、タブレット型パソコンが20台程度あります。無線LANについては、両中学校と港小学校の普通教室に整備しています。

今後は、電子黒板と無線LANを未設置の小学校に導入する計画です。

プログラミング教育について

問 2020年に小学校でプログラミング教育が必修となる理由は。

答 現在の社会では、コンピュータが普及し、多くのものが複雑なプログラムによって制御されています。人工知能技術の発達で、コンピュータの普及は、さらに進むことが予想されます。社会を理解する上でも、コンピュータを知ることがはかせません。

小学校の段階でプログラミングを体験し、実際にプログラムを書くことによって、コンピュータの性質を理解するためです。

問 小学校で学ぶプログラミングの内容は。

答 プログラマーに育てることが目的ではなく、プログラミングの考え方に基づいた論理的思考を育むことが目的です。問題解決には、必要な手順があることを気付かせるように指導します。





鈴木 勝彦 議員

平成30年度 予算編成に向けた 市政クラブの 政策提言について

問 平成30年度予算の基本的な考え方は！

答 高浜市長期財政計画では、平成30年度からの10年間で170億円の普通建設

事業が見込まれ、高浜小学校整備事業を始めとする大規模改修の時期が集中し、財政運営が厳しくなる転換点と捉えています。こうした財政需要を乗り越えて、限りある財源をその先へ繋ぐスタートの年であり、加えて第6次高浜市総合計画を第7次へと、「未来へ繋ぐスタート予算」と位置付け、メリハリを付けた予算編成に取り組んでまいります。

問 高浜市総合計画・基本目標Ⅰ～Ⅳを問う。

答 基本目標Ⅰ「みんなで考え みんなで汗かき みんなでまちを創ろう」では、滞納整理システムを構築し「徴収率の向上」、「行政内部事務の省力化」、「情報発信の強化」、「公共施設

総合管理計画の推進」に取り組んでいきます。

基本目標Ⅱ「学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう」では、待機児童ゼロに向けた取り組みとして、平成31年4月オープンを目指して高取幼稚園と保育園の民営化及び認定こども園化や産後無料検診の実施など「安心な子育て環境事業」の整備を行います。各小中学校の「教育環境の向上事業」では、電子黒板の設置の完了やICT機材の購入など「ICT教育事業」に取り組みます。

基本目標Ⅲ「明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう」では、「企業誘致・産業振興事業」では官民一体で環境整備を防災では新型Jアラートの整備、災害用資機材の整備など「防災力の強化」に取り組みます。

基本目標Ⅳ「いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう」では、医療と介護の連携や認知症初期集中支援事業を実施し「地域包括ケアシステムの構築に繋げる事業」に取り組みます。今後の行財政運営では、人工知能の発展やIoTの普及など、猛烈なスピードで変化する時代を予測して、将来を見据えアンテナをしっかりと張り、ネットワークを広げて当たります。



幸前 信雄 議員

保育園の 待機児童対策について

問 来年度、保育園に4月に入園できない方が、どれくらい出てしまうのか。

答 入園申し込みが今年より13人多く、今年の待機児童17人を上回ることが予想される。特に1歳児で

は、新規受入れ予定数89人に対し、申し込み数が126人と、大幅に上回る状況。

問 保育事業優先順位は、保育の質の確保、待機児童対策、兄弟が別の園に通園、出産後の育児中の3歳未満児が退園せずに保育園に通園できることと考えるが。

答 保育士をしっかりと確保し、待機児童が解消されるのが当面の課題。兄弟が別の園に通園については、夏ごろに転園希望を確認し、可能な範囲で少しずつ解消。育児できる環境の方は、家庭で一緒に過ごしていただきたいと考える。

問 保育園への入園希望者はどのように計画され、実績との乖離があれば、計画の見直しはど

うなっているのか。

答 「高浜市子ども・子育て支援事業計画」で1・2歳児の保育の必要数が、平成27年度の364人をピークに、平成31年度に313人に減少すると見込み、定員を319人で計画。平成29年度は385人の申し込みがあり、結果を踏まえ、計画の見直しをしていく事も考える。

「高浜市公共施設総合管理計画」に関連した 市民との対話について

問 「中央公民館の賛否を問う住民投票」について、何故このようなことになったと考えているか。

答 公共施設の再編・最適配置の取組みは、中央公民館という個別の施設の視点でなく、市民サービス全体を考えた視点が背景で、そのことをご理解いただくのに時間を要したと考える。

問 職員の意識は統一されていたのか。

答 全庁的に取組むべき最重要課題として、市長・副市長並びに市幹部が質問に答える体制で行った。





黒川 美克 議員

公共施設の あり方計画について

問 公共施設総合管理計画の進捗状況と、今後について問う。

答 公共施設は新たにつくらないことを前提に、学校を地域コミュニティの拠点とし、他の施設との複合化を進めています。その第1歩として現在、市本庁舎整備事業を進めています。

また、学校を複合施設のモデルとし、最初の地域コミュニティの拠点となる高浜小学校等整備事業を進め、公共施設の跡地活用事業のモデルとしては、勤労青少年ホーム跡地活用事業に取り組んでいます。

現在、市本庁舎は旧庁舎の躯体部分の解体工事を概ね終え、会議棟と駐車場の整備・外構工事に移るが、アスベスト除去に日数を要したため、完了が平成30年6月25日の予定となります。

公民館解体工事は、基礎の撤去と杭抜きが一部残っていますが、工期に影響がない予定です。

高浜小学校等整備事業はワーキンググループを組織し、実施設計の最終的調整をしています。勤労青少年ホーム跡地活用事業は、12月14日開催の公共施設あり方検討特別委員会に報告の予定です。

問 公共施設推進プランで実施した、事業の契約状況について問う。

答 市本庁舎整備事業は、税別30億7,734万円で当初契約を締結し、その後、光熱水費分を除いた28億4,734万円、次いで、外壁塗装のアスベストの除去費用として税別5,200万円増額し、28億9,934万円に変更契約を締結。税別で1億7,800万円の減額となっています。

旧中央公民館解体工事は、当初契約額は1億3,478万4千円で、アスベスト除去工事費270万円。新たな排水対策の費用で当初契約額に5,301万720円を追加し、現時点では合計1億9,049万4,720円。当初契約と比較して5,571万720円の増となっています。今後は跡地活用とも調整し、工事の工夫等で減工できないかを模索し、あれば減額の契約変更を考えます。また、高浜小学校等整備事業は、税別44億4,602万8,126円で事業契約を締結しています。



北川 広人 議員

国民健康保険の 改正について

問 平成30年4月から、国保の運営体制はどうなるのか。

答 新たに愛知県も保険者として運営に関わり、市町村毎に納付金を決定。標準保険税率も市町村毎に設定

する。また、保険給付の点検・事後調整と、市町村が担う事務の標準化・効率化・広域化を促進する。市は、資格管理・保険給付・保険税率の決定・賦課徴収・保健事業等を行う。

問 納付金制度になるメリットは何か。

答 医療費の激増等から納付金が高額となった場合、県内の市町村は互いの伸び率の調整で財政運営上のリスクが回避され、安定的な財政運営を実現することができる。

問 高浜市の国保における年齢構成・所得水準・医療費水準・保険税額の現状と見通しは。

答 年齢構成は、60歳以上が46.8%。所得水準は72万1,932円で、県下54市町村中21位。

医療費水準は28万8,752円で県下53位。保険税額は11万1,246円で、県下3位となっている。今後はさらに高齢化が進み、無職の方の増加が予想され、国保財政運営は厳しくなっていく。

問 新制度における高浜市の納付金の状況は。

答 仮算定では県平均を下回り、県下54市町村中20位となる見込みである。被保険者数が現行と同程度であれば、現行と同水準の被保険者負担で賄える試算となっている。

問 賦課方式が、現行の4方式から3方式に変更になるとの事だが、どのような影響があるか。

答 県の標準が、現行の所得割・均等割・平等割・資産割の4方式から、資産割を除く3方式になる。固定資産のある被保険者は、その税額に応じて負担が軽減される。その軽減分が世帯や被保険者の人数に応じて均等に増額される。所得のある方には、所得割の配分が高くなる。

しかし、保険税として徴収する総額については平成29年度と同程度に留めるとともに、特定の所得階層や世帯状況の方に影響が集中しないよう、最大限の配慮をしていく。

なお、低所得者の方には、現行と同様に2割・5割・7割軽減の適用が継続される。



柳沢 英希 議員

職員育成と 組織編制について

問 目指す職員像と研修内容について。

答 総合計画の基本目標実現に向け、柔軟性、専門性、想像力、判断力、対人関係力、政策形成力を養い、地域の課題解決に向け、主体的

に行動できる人材を育成するために、全国地域リーダー養成塾や各まちづくり協議会へ特派員として職員を派遣。若手・中堅職員が主体的に行動する機会を生んでいる。また、若手職員間の成長支援として、コミュニケーションの活性化も図っている。専門性向上として、税務や下水は市町村アカデミーの専門研修へ。防災担当は、名大減災連携研究センターへ受託研究員として研修派遣している。

問 若手・中堅職員を育成するには、管理職の役割は重要である。管理職に対しての研修は。

答 部長には、職責に対する自覚とマネジメント力を。グループリーダーには、管理能力と政

策形成能力の強化を実施している。

問 若手職員育成のために、管理職への研修はもっと計画的に行うべきでは。

答 平成30年2月より、管理職や幼保の園長を対象に、管理・監督者としての指導育成や働き方、ハラスメント防止、ラインケアの研修を計画的・継続的に実施していく。

問 グループ制を実施して12年。一定の職員のみにも負担が掛からぬよう、グループ内やグループ間の協力体制や補完し合うといった構築は。

答 一部の業務において協力体制はできているが、業務内容や経験不足によって、できていないこともある。組織のフラット化により主査職（若手職員が気軽に相談できる身近な上司）がいなかったり、逆に主幹職・副主幹職（課長・課長補佐級）が細かな実務に時間を割かれる現場があったりと、様々な課題が出てきている

問 グループ制の検証は行っているのか。またグループ制の見直しも視野に入れているのか。

答 グループ内にチーム制を任意で導入したが、浸透しなかった。あと1年かけ検証結果を出し、職員のやる気を引き出し、全体のレベルアップが図れる組織改革を考えていく。



神谷 直子 議員

赤ちゃんとお母さんの 健康について

問 保健センターと子育て世代包括センターの役割について。

答 保健センターは、母子保健事業として保護者を支える相談支援を、子育て世代包括支援センターは、子

ども発達センターに子育て世代包括支援センターを併設し、子育て支援と妊娠出産期の包括支援を支えるため、助産師と保健師を配置し、切れ目のない支援ができるように進めています。

問 マイ保健師制度とは？また、効果は？

答 小学校区単位で、子どもから高齢者まで、全ての地域の方を見守る保健師活動です。介護や子育てを両立するダブルケア支援など、地区単位でケアすることで、顔の見える関係づくりができています。また、マイ保健師制度で、妊婦さんの妊娠、出産、子育てと、その家庭の課題と強みを分析するカルテを作成しています。

問 産後無料健診と産後ケア事業とは？

答 産後うつを予防するため、産後2週間と1か月の健診を平成30年4月から無償化に、また、産褥期サポートと、産後ケア入院です。

問 祖父母手帳や電子母子手帳の導入について。

答 先進自治体の、取り組み状況の調査からしていきたいです。

生涯現役のまちづくり事業について

問 ホコタッチ（※）の利用者数は？

答 約4,100名に配り、1年半～2年以上経過し、現在月1回以上利用している方は2,400名。

問 効果測定の検証は？

答 運動機能は、男女別に歩行速度と下肢筋力を。認知機能は、注意機能、遂行機能、処理能力を比較した。健康自生地に参加している方のほうが、優れているという結果がでた。

（※）ホコタッチとは、専用歩行計です。日常歩行速度（質）、平均歩数（量）、平均消費カロリーの3つのデータから、歩行生活年齢が分かります。平成27年9月から平成28年6月まで、脳とからだの健康チェックを受診された方に、もれなく配られました。



神谷 利盛 議員

長期財政計画の 推計方法について

問 長期財政計画での扶助費と、「NEXTたかはま」との整合性は取れているか。今後の見通しは。

答 整合は取れていない。扶助費の見通しでは年少人口の減少を考慮し、全体として穏やかな増加と推計している。

扶助費増加は、長期財政計画の値に含まれる。

問 EV化により、地元製造業への影響が懸念される。法人税減収の可能性は検討しているか。

答 検討していない。減収の場合は、財政調整基金（約10億円）で対応する。

高浜市総合サービス(株)のあり方について

問 市役所の中で、該社の経営方針やコンプライアンスを管理監督している部署はどこか。

答 該当部署は設けていない。市は取締役として2名を出向させており、その2名が管理する。

問 該社の収益を市の財政に反映させる必要が

有ると思うが、市の考えは。

答 業務委託料の引下げを行い、行政コストの削減努力をさせていただいている。

カワラでつながるミライ等について

問 三州瓦の海外販路確保のため、空港島の国際展示場（現在建設中）を活用することだが、現在何か検討しているか。

答 今のところ、愛陶工（愛知県陶器瓦工業組合）との打合せは実施していない。今後、支援する方向で検討したい。

問 中国、東南アジア地区のマーケット調査を、瓦屋根補助金＋（プラス）愛陶工からの拠出金の計3千万円で、1年かけて実施すべきと思うが、どうか。

答 愛陶工から依頼があれば検討する。

問 高浜高校SBP（絆焼き）の商談状況は。

答 受注5台、出荷済3台、商談中2台。

韓国からの引合いもある。高浜高校のクラブ活動として、今後も継続していく。

問 ジャンボ落花生の生産計画は。

答 平成28年実績約1.7トン、平成32年には約18トン（平成28年比約10倍）を計画している。



内藤 とし子 議員

2018年度予算編成に 対する市民要望について

問 平和行政について、県内で平和首長会議に未加盟なのは瀬戸市と高浜市だが、瀬戸市は11月に加盟したと聞く。高浜市の加盟は。

答 11月15日に加盟し、12月1日に認定された。

問 就学援助（入学支援金）を名前にふさわしく、入学前支給すべきではないか。

答 所得状況を確認した上で認定する等の課題があるが、平成31年度から入学前支給としたい。

問 国民健康保険制度について、平成30年度から広域化されるが、愛知県はまだ保険料を公表していない。いつ公表するのか。

答 平成30年1月末に県から本算定結果が示され、その結果に基づいて行っていく。

問 高浜小の複合化について、体育館のホール機能は具体的に何か。また、体育館でのイベント時、200台の駐車場では不足すると考えるが。

答 ステージに音響や照明設備を備えており、

中央公民館と同等の席数を確保できるようにする。また、200台の駐車場ということを知り、乗り合わせ等工夫して集まっていたきたい。

問 南テニスコートについて、南中の生徒が部活動で使用しているが、平成30年3月で閉場する。その後は碧海テニスコートで練習すると思うが、4面だったものが2面になる。さらに朝練は中止するというが、どうするのか。

答 部活動は勝つだけが目的ではなく、自主的活動ができることも考え、最善の策をとる。

問 夏季の大会が済む9月に取り壊しを延期して欲しいとの声があるが、そのような考えは。

答 平成31年4月を目指して拠点整備を進めており、そうした考えはない。

問 中央公民館跡地活用について、市民に意見を聞いておらず、病院移転用地と決定していたわけではない。高浜分院には移譲後8年で28億円の補助金が入っており、これ以上負担すべきでなく、市民の意見をきちんと聞いて決めるべきでないか。

答 互いに妥協点を探ってきた結果であり、その考えでは、10年後に高浜から病床がなくなる。

11月25日(土)開催 議会報告会

平成29年11月25日に開催した際の、アンケート用紙に記載されたご意見などです。貴重なご意見ありがとうございました。今後の議会活動に役立ててまいりたいと思います。

■出席者(10名中1名提出なし)

- ・市内在住、在勤等の区分：在住(9)
- ・居住地：青木町(1)、小池町(1)、神明町(2)、田戸町(1)、八幡町(2)、論地町(1)、記載なし(1)
- ・性別：男性(7)、女性(1)、記載なし(1)
- ・年齢：60代(3)、70代(6)
- ・参加回数：初めて(3)、2回目(3)、3回目(1)、6回以上(1)、多くて覚えていない(1)
- ・議会報告会をどこで知ったか：広報・市議会だより(4)、高浜市ホームページ(1)、議員から聞いた(5)※重複回答あり。
- ・報告会の内容：まあまあ理解できた(5)、分かり難かった(4)

■アンケート用紙記載内容(抜粋・要旨)

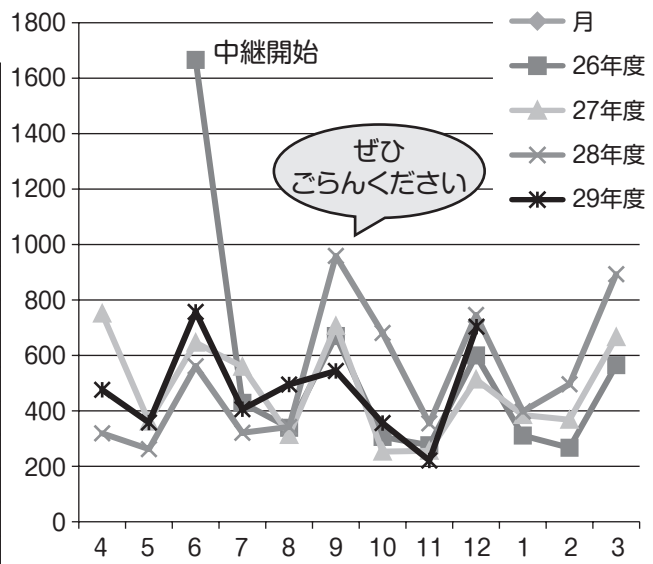
- 意見：現在、高浜市民はどれだけの内容が理解できているか、議会専用のホームページを作り、市民が直接意見を書き込みできるようにしてください。
- 意見：(議会報告会で)幅広く質問できるような努力は認めるが、同一人物による再質問

が何度も続くことに対する工夫・対策が望まれる。行政当局への不満を、この場で言うてほしくない。

- 意見：予算・決算概要書の発行時期と報告会開催時期を調整されたい。
- 意見：議会の機能の中で最も重要なことは、市民に代わって行政の監視をすることと思う。市民の意見を聞き、法令に沿って行政執行が行われているか、責務を果たすよう希望します。
- 意見：議会の後ろには、市民の多くのお目付け役がいます。どの議員も、どんな質問にも答弁できるよう、もっと勉強が必要です。
- 意見：高浜市は、碧海5市の中でも人口に対する議員定数が一番多い。高浜市も市役所のスリム化、公共施設の総量圧縮が実施されています。市民、議会、行政の一体の圧縮(削減)への取り組みが必要であると思います。
- 意見：全議員はもっと勉強が必要である。9月議会を初めて傍聴したが、市長の答弁が一度もありませんでした。議会報告会でも市民の質問に誰が答えるか顔を見合わせていました。
- 意見：1.報告では、ページとどの部分の報告かを言ってほしい。2.資料に補足説明や、解説を入れてほしい。3.参加者を増やす工夫を。もともと硬い場なので、柔らげる工夫をして、参加者が集いやすい工夫をしてほしい。報告会に行くと「いいことがあるよ。」の評判が生まれるようにしていただきたい。

議会中継画面アクセス件数

区分	月	26年度	27年度	28年度	29年度
	4		751	319	476
	5		361	262	358
定例会	6	1,666	646	561	757
	7	429	559	321	406
	8	339	313	342	495
定例会	9	670	706	959	544
	10	306	253	681	356
	11	276	256	355	221
定例会	12	600	513	746	705
	1	311	385	398	
	2	267	368	496	
定例会	3	565	666	893	
合計		5,429	5,777	6,333	4,318
年度平均		543	481	528	480



※1人の方が2回アクセスしてきた場合は、2件のカウントになります。

議会に傍聴に行かなくても本会議が見られます

- ①生(ライブ)で本会議の視聴ができます。
 - ②録画中継でも、おおむね2週間後には、本会議の視聴ができます。
 - ③生中継の本会議開始時刻は、いずれも10時開始予定です。
- 下表の、3月定例会日程を参考に、ぜひご覧ください。

- インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生中継や録画中継をごらんになることができます。
- 議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずご覧ください。

■PC向けアドレス <http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

■スマートフォン向けアドレス <http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

■スマートフォン用QRコード



!
ご注意ください

※視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者のご負担となります。
※動画配信となりますので、視聴者の通信料等の契約内容により、高額となる場合があります。
※視聴に際し今一度、視聴環境にかかる契約内容を、よくご確認・納得のうえ、ご視聴ください。

3月定例会を傍聴してみませんか

定例会は3・6・9・12月の、年4回開催されます。

開会時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問等で、市政全般にわたって論議が展開されます。ぜひ一度、傍聴にお越しください。

■3月定例会の日程

月 日	曜	会議日程	付 議 事 項
2月23日	金	本会議 第1日目	開会、施政方針、教育行政方針、議案上程、説明
2月27日	火	本会議 第2日目	一般質問
2月28日	水	本会議 第3日目	一般質問
3月 2日	金	本会議 第4日目	補正予算の質疑、採決、議案総括質疑、予算特別委員会設置
3月 7日	水	予算特別委員会	付託案件審査
3月 8日	木	予算特別委員会	付託案件審査
3月13日	火	総務建設委員会	付託案件審査
3月14日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
3月15日	木	公共施設あり方検討特別委員会	付託案件審査
3月23日	金	本会議 第5日目	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

編集後記

去る、平成29年12月7日に、副議長、議長を歴任された杉浦敏和議員がご逝去されました。

地域を大切にされ、温厚なお人柄は、周りの方、まちの方はもちろん、議員だけではなく、市役所職員からも慕われる素敵な方でした。

長らく、闘病を重ねながら議員生活を送るという生活をされてみえました。お亡くなりになる直前の入院でも、12月議会で一般質問をするんだとファイトを燃やし、その先の3月議会、6月議会での質問の構想を練って、最後まで高浜市の将来を気にかけておられました。

生前を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

謹んで、ご冥福をお祈りいたします。



杉浦敏和議員逝去